

西白杵地域の普及活動（普及活動月報）

令和8年4月 西白杵支庁
（西白杵農業改良普及センター）

目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き
 - 1 【高千穂町・五ヶ瀬町】全国茶品評会(※)に向けた支援
 - 2 【高千穂町】高千穂地区野菜生産組合全体会が開催
 - 3 【全域】JAみやざき高千穂地区本部青年部総代会が開催
 - 4 【五ヶ瀬町】五ヶ瀬町ぶどう生産組合定期総会の開催

- II 主な普及指導活動等の取組み
 - 1 地域プランに基づく普及活動
 - 1 【管内】畜産農家への定期巡回の実施
 - 2 【全域】イタリアンライグラス展示ほ収量調査
 - 3 【高千穂町・日之影町】きんかんの高温対策について指導
 - 4 【五ヶ瀬町】営農振興協議会のピーマン展示ほを設置
 - 5 【高千穂町、日之影町】ミニトマトの定期巡回指導

 - 2 地域課題一覧に関する普及活動
 - 1 【高千穂町】青年等就農計画見直し検討会
 - 2 【高千穂町】中川登集落協定等総会が開催
 - 3 【日之影町】日之影町SAP会議定期総会が開催
 - 4 【管内】県立高千穂高等学校の校外見学研修を支援
 - 5 【管内】高千穂地区営農振興協議会果樹部会（第1回）の開催
 - 6 【管内】高千穂地区営農振興協議会花き部会（第1回）の開催
 - 7 【管内】高千穂地区営農振興協議会野菜部会（第1回）の開催
 - 8 【高千穂町】下川登地区で水稲研修会を開催

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 【高千穂町・五ヶ瀬町】全国茶品評会(※)に向けた支援

15日、22日の2日間、高千穂町1戸と五ヶ瀬町1戸の全品茶出品茶園において、関係者と連携し、色のり・成分向上等を目的とした寒冷紗での被覆支援を行いました。また、28日には、高千穂町1戸の出品茶園の摘採・製造支援を行いました。

4月上旬に霜害の影響を受け、生育のばらつきが生じたり、雨天が続いたことで摘採のタイミングの見極めが難しい状況でしたが、計画どおりに摘採・製造作業を行うことができ、高品質な出品茶が製造できました。

8月には、佐賀県において全国茶品評会の審査が行われる予定です。今後は、関係者と連携し、調整作業について支援していきます。

※全国茶品評会：全国茶生産団体連合会が主催で毎年開催。歴史と権威ある茶のコンテスト。



【全国茶品評会に向けた被覆支援】

2 【高千穂町】高千穂地区野菜生産組合全体会が開催

16日、ゆめゆめプラザTACにおいて、標記野菜生産組合全体会が開催され、生産者約150名が参加しました。全体実績では出荷量が前年比102%となりましたが、収量が減少した品目も多く、組合長からは夏季高温対策を講じて収量・品質向上を目指していこうと挨拶がありました。

会では、優良生産者の表彰や情勢報告、販売の実績・計画についての説明が行われ、令和8年度は部会平均反収の底上げ（前年比102%）を目指すこととなりました。

普及センターとしても、安定した栽培ができるよう、生産者に対する普及活動・支援に取り組んでいきます。



【高千穂地区野菜生産組合全体会】

3 【全域】JAみやざき高千穂地区本部青年部総代会が開催

20日、ゆめゆめプラザTACにおいて、標記青年部総代会が開催され、総代15名が参加しました。

会では、令和8年度の事業計画および収支予算案等が承認されました。

昨今の世界情勢の不安定や物価高騰など、農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますが、青年部員たちの結束の固さと、本年度の活動に向けた力強い意気込みを示された会となりました。



【青年部長による挨拶】

4 【五ヶ瀬町】五ヶ瀬町ぶどう生産組合定期総会の開催

20日、五ヶ瀬ワイナリーにおいて、生産者約20名が参加し、五ヶ瀬町ぶどう生産組合定期総会が開催されました。

会では、事業計画の協議のほか、ワイナリーからの情勢報告が行われました。令和8年度はブランド力の強化に加え、県外実需者への提供品種の拡大を行う計画としています。

今後も関係者と協力し、巡回指導等を通して高品質で安定した生産を支援していきます。

II 主な普及指導活動等の取組み

1 地域プランに基づく普及活動

1 【管内】畜産農家への定期巡回の実施

7日、9日の2日間、重点対象農家3戸への巡回指導を延岡家畜保健衛生所と連携し実施しました。

体測による子牛の発育状況確認および母牛の繁殖検診を実施し、子牛の発育および繁殖成績について生産者と共有することで、現状把握が出来るようサポートを行いました。

引き続き、生産者の要望に応じた指導を心掛け活動していきます。



【生産者への結果共有】

2 【全域】イタリアンライグラス展示ほ収量調査

普及センターでは、地域に適正のある飼料作物の品種選定や土壌改良材の利用体系を検討するため飼料作物の展示ほを設けています。

4月は、イタリアンライグラスが収穫期となり、品種比較試験および土壌改良材利用試験の収量調査を実施しました。土壌改良材利用試験は、いずれのほ場でも施用区が無施用区より草丈および収量が優れていました。

今後は、収穫草の栄養成分調査を実施し、収量と併せて研修会等で結果を報告します。



【イタリアンライグラス収量調査】

3 【高千穂町・日之影町】きんかんの高温対策について指導

28日、ゆめゆめプラザTACにおいて、令和7年産きんかん実績検討会が開催されました。

令和7年産きんかんは、昨年度と比較して生産量が増加し、それに伴い単価は下落傾向にありましたが、品質の確保に努めた結果、他産地のきんかんに比べ高単価を維持することができました。

検討会では、小玉果の発生原因や今年の気象の振り返りを行い、高温対策等の必要性について説明しました。また、カメムシ類被害の対策についても、資料をもとに注意喚起を行いました。

今期についても、高品質な果実となるよう関係者と連携し支援していきます。



【きんかん部会長のあいさつ】

4 【五ヶ瀬町】 営農振興協議会のピーマン展示ほを設置

15日、五ヶ瀬町において、JA指導員と共に、営農振興協議会のピーマン展示ほを設置しました。

今回の取り組みでは、環境にやさしい生分解性素材の「ひなたエアポット」で育てた苗を定植する際に、保水力に優れた資材も混和することで、ピーマンの生育にどのような影響をもたらすか調査していきます。

今後は、定期的な生育調査を継続し、その成果を生産者へ還元できるよう努めてまいります。



【左：55穴セル苗、右：ひなたエアポット】

5 【高千穂町、日之影町】 ミニトマトの定期巡回指導

24日、高千穂町（2戸）および日之影町（7戸）のミニトマトハウスをJA指導員と合同で巡回し、定植後の生育状況を確認しました。

調査の結果、各ほ場とも葉数5～6枚、草丈15cm程度で順調に推移しており、初期生育は良好です。

今後もJAと連携し、定期的な巡回を通じて、安定生産に向けた栽培指導を継続してまいります。



【ミニトマト定期巡回指導】

2 地域課題一覧に関する普及活動

1 【高千穂町】青年等就農計画見直し検討会

6日、13日、17日普及センターにおいて、高千穂町の認定新規就農者1名（花き、野菜）に対し、品目変更に伴う青年等就農計画書の見直しを町担当者と共に支援しました。当該計画については、30日の認定審査会において、計画変更が承認されました。今後も新規就農者の経営改善に向け、関係機関と連携し支援していきます。

2 【高千穂町】中川登集落協定等総会が開催

24日、中川登地区において、集落協定、公民館産業部、ならびに農地集積組合の各総会が開催されました。各総会における全ての議案は、全て承認されました。

農地集積組合の総会では、活動の原資が減少している現状を踏まえ、今年度をもって組合の活動を終了する旨が報告されました。

各組織とも、水路管理や景観維持、水車修繕等、農地・農村の維持活動に取り組んでおり、中山間地域における農地維持や経営改善の観点から、関係機関と連携し支援していきます。

3 【日之影町】日之影町SAP会議定期総会が開催

28日、日之影町において、標記総会が開催されました。総会では、令和7年度の事業報告および収支決算、令和8年度計画案と収支予算案、役員改選について審議が行われ、原案どおり承認されました。

同SAP会議は、多様な品目、業種の会員が集う組織であり、今年度は新たに4名の加入があり、今後さらなる活動の活性化と地域農業の発展が期待されます。

普及センターとしては、関係機関と連携し、SAP会議への技術・経営支援を通じて、会員のさらなる成長と地域農業の振興に努めていきます。

4 【管内】県立高千穂高等学校の校外見学研修を支援

28日、普及センターにおいて、生産流通科2年生15名を対象に研修を行いました。同校では西臼杵地域の農業や観光について学んでおり、今回は、普及センターの業務内容や地域農業概要について説明を行いました。生徒からは、国内農業の動向や世界の農業情勢を見据えた鋭い質問もあり、次代を担う農業高校生の高い関心が伺えました。

今後も、このような教育支援を通じて、地域の農業を担う次世代の人材育成に貢献してまいります。



【高千穂高校生に対する講義】

5 【管内】高千穂地区営農振興協議会果樹部会（第1回）の開催

22日、普及センターにおいて、標記果樹部会を開催しました。

会議では、各品目の生育状況を共有したほか、部会の令和7年度実績や令和8年度計画、ブランド活動計画について検討を行いました。

また、普及センターからの情報提供として、地域プランや農業者向け研修について情報提供し、連携強化を呼びかけました。

その他、普及センター果樹担当の広域化を受け、部会運営の検討を行った結果、部会を毎月開催から2ヶ月に1回の開催に変更することとなりました。

新たな体制の中、関係機関との連携を強化し、一丸となって高千穂地区の果樹振興に取り組んでいきます。



【果樹技術員会】

6 【管内】高千穂地区営農振興協議会花き部会（第1回）の開催

22日、普及センターにおいて、標記花き部会を開催しました。

会議では、各品目の生育状況を共有したほか、部会の令和7年度実績・令和8年度計画、ブランド活動計画について検討しました。

その他、普及センター花き担当の広域化を受け、部会運営の検討を行った結果、部会を毎月開催から2ヶ月に1回の開催に変更することとなりました。

新たな体制の中、関係機関・団体との連携を強化し、一丸となって高千穂地区の花き振興に取り組んでいきます。

7 【管内】高千穂地区営農振興協議会野菜部会（第1回）の開催

22日、当普及センターにおいて標記野菜部会を開催しました。各品目の生育状況について情報共有を行ったほか、令和7年度実績・令和8年度計画について協議を行いました。展示ほの設置計画については、近年の課題である高温対策について取り組むことを検討しました。

また、普及センターからは、地域プランや農業者向け研修について情報提供し、連携強化を呼びかけました。

その他、普及センターの広域指導体制化を受け、今後の部会運営について検討し、毎月開催から2ヶ月に1回の開催へと変更することとなりました。

引き続き、関係機関・団体との連携を強化し、高千穂地区の野菜振興に向け一丸となって取り組んでいきます。



【野菜技術員会】

8 【高千穂町】下川登地区で水稻研修会を開催

28日、下川登地区の産業部・集落協定期総会が開催され、それに併せて水稻栽培研修会を行いました。

同地区は、以前から高品質な米づくりに精力的に取り組んでおり、現在では大半の生産者が「美味しい米」の指標とされる食味スコアが向上するなど、水稻栽培技術水準は年々向上しています。

今回の研修会では、栽培の基本技術に加え、近年の課題である高温環境が水稻栽培に与える影響とその対策について説明した他、新品種「ひなた舞」に関する情報提供も行いました。

参加者からは、発芽率低下対策や「ひなた舞」について様々な質問が出るなど活気ある会となりました。